

令和元年度における県の主な取組状況

担当課 環境政策課

事業名	食品ロス削減・生ごみ減量強化事業
趣旨	第3次青森県循環型社会形成推進計画の目標を達成するため、行政と事業者が連携しながら、県民に対して3つの「きる」を重点的に普及啓発し、食品ロス削減と生ごみ減量に向けた取組を県民運動として定着させる。
主な取組	<p>1 3つの「きる」キャラバン隊PR活動の実施 スーパー等において、買い物客にターゲットを絞り、家庭における3つの「きる」の必要性や具体的な実践方法についてPR活動を行った。 【令和元年度 計20回実施】</p> <p>2 食べきり推進店等の認定 平成30年4月に「あおり食べきりオフィス・ショップ」の認定制度を創設し、県民及び事業者が食品ロス削減に取り組みやすい環境の整備を図った。 【令和元年12月末現在 166事業所】</p>
今後の取組方向	引き続き、「食材は使いきる」「料理は食べきる」「生ごみは水気をきる」の3つの「きる」を普及啓発するとともに、「あおり食べきりオフィス・ショップ」の認定事業者数の拡大に努めていく。

事業名	民間協働型健やか力啓発事業
趣 旨	健康無関心層へのアプローチ先として、スーパーマーケットを新たな普及啓発の場とするために、取扱商品を活用した売場作成や普及啓発を行う。 また、働き盛り世代に接する機会の多い、生命保険外交員を健康づくりの新たな担い手として育成する。
主な取組	<p>1 高血糖からマモルキャンペーン in スーパーマーケット</p> <p>① スーパーマーケットにおいて健康づくりを訴求するディスプレイコンテ ストの開催 4 4 店舗参加 最優秀賞 1 店舗 優秀賞 2 店舗、優良賞 8 店舗選出</p> <p>② 管理栄養士による栄養相談、糖尿病のリスクチェックをスーパーマーケ ットの店頭で実施。 県内 2 0 か所</p> <p>2 健やかレディーで未来を変える事業 健康に関する知識を自ら学習・習得してもらうため、広く教材を配布し、各 自が習熟度をチェックできる体制を整備。</p> <p>3 食生活に関する調査結果を元にした P R 強化 不足分の野菜・果物の量がわかるポスター・チラシの作成、スーパー等への 配布</p>
今後の取組方向	引き続き、関係機関と連携し県民の健やか力向上に向けた普及啓発を推進する。

事業名	栄養改善対策事業～飲食店麺類塩分改善事業～
趣 旨	県民の食塩摂取量については、依然として目標の 8 g を達成していないこと から、外食における主な主食となる麺類（ラーメン・うどん・そば）の塩分を 調査し、スープを飲む量を少なめに調整したり、次の食事で塩分を控えたりす るよう普及啓発する。
主な取組	<p>1 塩分調査 青森県食生活改善推進員連絡協議会に委託し、飲食店において提供されて いる麺類のスープの塩分濃度計測及び、麺類 1 食分のスープ量を計測し、塩 分量を算出する。 6 圏域で、県内 1 0 0 店舗で実施予定</p> <p>2 青森のおいしい健康応援店の認定のための情報提供 調査のため訪問した飲食店が、県が実施している「青森のおいしい健康応 援店認定事業」の要件を満たすメニューを提供している場合は、管轄の保健 所へ情報提供</p>
今後の取組方向	調査結果を取りまとめ県民に周知する。

事業名	無理のない減塩推進ムーブメント創出事業
趣 旨	県民が健康づくりのために食品の栄養成分表示等を活用し、望ましい食品選択ができるよう普及啓発を行い、無理なく減塩に取り組めるようヘルスリテラシーの向上を図る。
主 な 取 組	<p>(1) 減塩商品等活用啓発事業</p> <p>① 子どもの頃からの減塩商品等チェック事業 中学校生徒の保護者向けに減塩習慣普及啓発媒体（チラシ）を作成</p> <p>② おやつ栄養適正化事業（455千円）</p> <p>ア 保育所及び認定こども園で提供する市販のおやつの栄養成分調査 26施設実施</p> <p>イ 保育所の調理員など給食施設等の職員を対象として栄養成分表示の活用を周知する研修会を開催 6保健所予定</p> <p>(2) 減塩食品等開発促進事業</p> <p>① 減塩食品等の開発促進の啓発 食品の栄養成分表示制度の周知リーフレットの作成及び配布 県6保健所へ配布</p> <p>② 事業者向け食品表示研修会の開催 健康福祉部保健衛生課、農林水産部食の安全・安心推進課と連携し4会場で開催</p>
今後の取組方向	減塩に関する啓発媒体作成や減塩セミナー開催により、県民の減塩習慣の定着を図る。

事業名	女性発信！ 農業者・漁業者の健やか力向上事業
趣 旨	県内農協、漁協女性部と連携した健康づくりを推進することにより、第一次産業就業者の健康づくりの機運を醸成するため、体験型セミナー等を開催する。
主 な 取 組	<p>1 農業女子・漁業女子健やか力向上セミナー（体験型セミナー） 農協、漁協の各女性組合員を対象とした健康づくりの意識啓発を図るための体験型セミナーを開催 4回開催（農協2回、漁協1回済み、漁協1回今後予定）</p> <p>2 生涯現役！健やか夫婦発掘事業 夫婦で健康づくりに努めながら、現役で農業・漁業に従事している本県在住の熟年夫婦を身近なロールモデルとして紹介するリーフレットを作成予定。</p>
今後の取組方向	本年度に引き続き、県内農協、漁協女性部と連携した健康づくりを推進する。

事業名	だし活！減塩ビジネス推進事業
趣 旨	県産だしを活用して減塩を進める「だし活」の普及と社会全体で減塩に取り組む「無意識の減塩」環境づくりに向けて、県民の「だし活」への取組機運を高めるとともに、県内スーパーと協力した「減塩総菜」のテスト販売及び減塩市場の動向調査等により、減塩ビジネスの可能性を検証する。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 「だし活」減塩ビジネスの実証 <ul style="list-style-type: none"> ア 「無意識の減塩総菜」の開発・販売・検証（2企業） (2) 子どもの頃からの「だし活」の実践・定着 <ul style="list-style-type: none"> ア 乳幼児健診等におけるだし活伝道活動 イ 青森県だし活協議会による「だし活」推進活動 (3) 旬の野菜を活用しながらの「だし活」の推進 <ul style="list-style-type: none"> ア 啓発資材の制作 イ 店頭等での旬の野菜と「だし活」を活用した店頭PR等
今後の取組方向	県民が無意識のうちに減塩できるよう「だし活」減塩ビジネスの研究結果を踏まえながら「だし活」商品の開発促進するとともに、無理なく「減塩」に取り組めるよう引き続き「健康寿命の延伸」と「地産地消」の両輪で進めていく。

事業名	学校給食あおもり産品供給・利用拡大事業
趣 旨	学校給食における県産食材の利用拡大に向けて、給食現場のニーズに対応した加工品開発を促すとともに、学校栄養士を対象とする研修やメニュー提案により、県産食材利用の機運を醸成する。
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> (1) 学校給食用食材の供給拡大 <ul style="list-style-type: none"> 生産者、加工業者、流通業者及び学校給食関係者等が給食現場のニーズを共有し、県産冷凍カットじゃがいもの製品化を検討 (2) 県産食材・加工品の利用拡大 <ul style="list-style-type: none"> ア 学校栄養士向け研修会の実施 <ul style="list-style-type: none"> 学校栄養士を対象に、農業生産現場や加工品製造現場を見学する現地研修会や県産野菜の魅力を伝える研修会を開催 イ 県産食材を使用した加工品のPR <ul style="list-style-type: none"> 県産農林水産物を使用した学校給食向け加工品の展示・試食会を開催 ウ 県産食材を利用した調理講習会 <ul style="list-style-type: none"> 県産食材を利用した調理講習会を開催し、学校栄養士に給食メニューを提案
今後の取組方向	関係団体と連携しながら、学校給食における県産食材の利用率向上に向けた取組を継続する。

事業名	あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業
趣 旨	県民が食育の意義や必要性を理解し、実践していくため、「いただきます！あおもり食育県民運動」の充実強化を図る。また、第3次青森県食育推進計画の目標達成に向け、県民に対する食育の普及浸透を図る。
主 な 取 組	<ol style="list-style-type: none"> 1 地域食育ネットワーク協議会の運営 地域県民局単位に協議会を設置し、地域の食育推進に係る情報交換及び研修等を実施 2 地域食育実践向上事業の実施 各地域県民局から民間団体等への委託事業として、食農体験会や見学会、農家ならではの食の知恵を学ぶ体験会を実施 3 青森県食育指導者養成研修会の開催 あおもり食育サポーター等の食育指導者の資質向上を図るための研修会を開催（9月10日、2月5日） 4 あおもり食育検定運營業務の支援 5 食育県民運動推進事業費補助 食料産業・6次産業化交付金実施要綱（地域での食育の推進事業）に基づき、市町村等が行う食育活動に対して補助金を交付（3団体） 6 あおもり食育サポーターの活動推進 <ol style="list-style-type: none"> ア 食育サポーターの活動支援（委託先：学校法人 青森田中学園） イ 県推進事業（食育サポーターの登録、サポーター制度の普及啓発） 7 食育活動実践プロジェクトの実施 食育サポーター等の食育関連団体が行う食育プロジェクトを公募により選定し、業務委託により実施 <ol style="list-style-type: none"> ① フードエデュケーションあおもり 青森市内の親子を対象に、アンケート調査、縄文料理体験会、縄文クッキーづくり体験会、縄文鍋調理体験会を実施 ② 地域応援チームうらまち 中学生とその保護者を対象に、アンケート調査、栄養学の講義、朝食簡単調理実習、郷土料理講習会を実施 ③ 東北女子短期大学栄養研究部 大学生及び若い世代を対象に、郷土料理を学ぶ先進地事例調査、郷土料理の伝承調理講座、試食会を実施 ④ 青森市立沖館小学校教育振興会 沖館小学校児童と保護者、地域住民を対象に、アンケート調査、食育チャレンジャー（生産者訪問・農作業体験）、クッキング体験、食祭会を実施
今後の取組方向	青森県食育推進会議の意見・提言を受けながら、引き続き「いただきます！あおもり食育県民運動」を展開し、食育の普及浸透を図る。

あおもりの「食」を育む食育県民運動推進事業（地域食育実向上上事業）	
東青地域県民局地域農林水産部	
主な取組	<p>(1) 「青森の魅力を発見！」～社会に出る前に！五感を使った食育体験～</p> <p>① 青森の特産物と旬の食材を知り、栄養価を学ぶ！（視覚・聴覚） 当日使用する野菜の生産農家から野菜の基本知識を、栄養士から青森の特産物と当日の食材の組み合わせ（相乗効果）について学び、青森の特産物に対する理解を深める。</p> <p>② 青森の旬をまるごと調理！（触覚・味覚・嗅覚） プロの料理人から、青森の旬食材を使った家庭の食卓や弁当づくりに役立つ料理のレクチャーを受け、調理実習と試食を行うことで、将来若い働き盛り世代となったときに食を通じた健康づくりができるよう、「自分が食べるもの」への興味と関心を高める。</p> <p>(2) 参加者へのアンケートの実施</p>
中南地域県民局地域農林水産部	
主な取組	<p>【南八甲田高原見学&味覚堪能体験ツアー i n 葛川】</p> <p>目 的：平川市南八甲田高原野菜のレタス農場や黒毛和牛の放牧場の見学、野菜収穫体験を通じて、地域農業への理解を図るとともに、周辺地域の親子や若い人、男性等、食育に普段あまり興味・関心を持つ機会が少ない消費者に対して、「食育」への理解を促す。また、事後に一般消費者への情報発信を行う。</p> <p>開催日：令和元年7月27日（土）</p> <p>対 象：平川市及び近隣市町村に在住の、地域の農業や野菜、お肉に関心のあ る親子（小学生以上）及び一般消費者（25名）</p> <p>内 容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・南八甲田高原の津根川森放牧場とレタス畑の見学及び収穫体験 ・旧葛川小中学校校庭での昼食 高原レタスと黒毛和牛のハンバーガーづくり、サーロインステーキの試食、高原野菜のスムージー ・クイズで交流、食育に関するアンケート調査 ・9月に平川市で開催された「ひらかわフェスタ」での体験ツアー実施状況の紹介

三八地域県民局地域農林水産部	
<p>主な取組</p>	<p>三八地域の中学生やその保護者を対象とした、地域食材を使った料理の調理体験・試食及び食育に関する講話</p> <p>1 八戸市立島守中学校における授業と調理体験の実施</p> <p>(1) 開催日：令和元年10月31日</p> <p>(2) 開催場所：八戸市立島守中学校 調理室</p> <p>(3) 対象：八戸市立島守中学校1・2年生14人、保護者2人</p> <p>(4) 内容：</p> <p>① 味覚をテーマとした授業</p> <p>② 八戸市内レストランシェフによる学校菜園で収穫した野菜を使ったサラダなどの調理体験</p> <p>2 八戸市立豊崎中学校における授業と調理体験の実施</p> <p>(1) 開催日：令和2年1月22日</p> <p>(2) 開催場所：八戸市立豊崎中学校 家庭科室</p> <p>(3) 対象：八戸市立豊崎中学校全校生徒27人、保護者5人</p> <p>(4) 内容：</p> <p>① 味覚をテーマとした授業</p> <p>② 八戸市内レストランシェフによるさばの缶詰や地元産野菜を使ったポルトガル料理の調理体験</p>
西北地域県民局地域農林水産部	
<p>主な取組</p>	<p><「三好むらづくり協議会（五所川原市）」への委託により実施></p> <p>1 豆腐づくり体験会</p> <p>開催日：令和元年9月1日（日）</p> <p>開催場所：三好地区農産物加工センター</p> <p>参加者：7名（広報により募集した親子又は一般市民）</p> <p>2 地元食材を活用したアイディア料理教室</p> <p>（地元産の米や大豆、三五八を活用した料理3品の料理教室の実施）</p> <p>開催日：令和元年9月29日（日）</p> <p>開催場所：五所川原市中央公民館</p> <p>参加者：8名（広報により募集した親子又は一般市民）</p> <p>3 みそづくり体験会</p> <p>開催日：令和元年12月1日（日）</p> <p>開催場所：三好地区農産物加工センター</p> <p>参加者：13名（広報により募集した親子又は一般市民）</p> <p>4 レシピ集の作成・配布</p> <p>「2」のアイディア料理を掲載したレシピ集を作成し、イベントや地域の直売所で配布。</p>

上北地域県民局地域農林水産部	
<p>主な取組</p>	<p>1 野菜収穫と調理体験を組み合わせた体験型食育イベントの開催 開 催 日：8/31(土)、11/6(木)、11/9(土)、11/24(土)、12/21(土) 開催場所：ベジキッチンまいまい（三沢市） 三沢キッズセンターそらいえ（三沢市） 内 容：地域の親子を対象とした野菜の収穫体験と米などを材料とした調理体験 参 加 者：延べ45人</p> <p>2 伝統料理・加工品の講習・交流会の開催 開 催 日：9/12(木)、9/26(木)、12/26(木)、1/18(土) 開催場所：一本松公民館（十和田市） 内 容：地域住民を対象とした漬物、すいとんなどの伝統料理や加工品等の講習・交流会 参 加 者：延べ75人</p>
下北地域県民局地域農林水産部	
<p>主な取組</p>	<p>1 親子料理教室の実施 親子での調理実習を通じて、家庭で健全な食生活を実践してもらうことを目的として実施。 内容：風間浦村食生活改善推進員の指導による地元食材を使った調理体験、むつ市内レストラン洋食シェフによる食品添加物をテーマとした講話 開催日：令和元年7月24日、令和2年1月11日 開催場所：風間浦村総合福祉センター 参加者：村内の小学生とその保護者 延べ54名</p> <p>2 地産地消料理教室の実施 調理実習を通じて、地元の食材の魅力を理解することを目的に実施。 内容：管理栄養士の指導によるとろろてんと味噌の調理実習 開催日：令和元年10月4日 開催場所：風間浦村総合福祉センター 参加者：一般住民 9名</p> <p>3 農作業体験会の実施 身近な野菜の収穫体験を通じて、地域の農業や農産物への関心を高め、食べ物大切さについて理解を深めることを目的に実施。 (1) りんごの収穫体験及び生産者との交流 開催日：令和元年9月30日 開催場所：弘前市鬼沢山ノ越地区 参加者：一般住民 18名 (2) アピオスの収穫体験及び生産者との交流 開催日：令和元年11月8日 開催場所：佐井村アピオス生産者園山氏の圃場 参加者：一般住民 3名</p>

事業名	みんながつながる食育推進事業
趣旨	第3次青森県食育推進計画の目標である「健康で活気に満ちた暮らし」と、2025年を見据えた「青森県型地域共生社会」の実現に向けて、県民のライフステージに応じた食育活動を展開する。
主な取組	<p>1 日本型食生活を重視した食育の推進</p> <p>ア ライフステージに対応した啓発活動</p> <p>① 農業高校生を講師とする園児の食農体験会の実施 県内農業高校において、生徒が講師となり、園児を対象とした農作業体験及び調理・加工体験を実施 <実施高校・対象保育園> ○五所川原農林高等学校・みどりの風子ども園ひろた園 ○三本木農業高等学校・まるく子ども園 <大豆の播種・収穫・豆腐づくりの></p> <p>② 高校、大学生対象の自炊塾 食生活が乱れがちな大学生や、近い将来親元を離れて一人暮らしをする可能性がある高校生を対象に、自炊生活をするために必要な知識や、食の大切さを学ぶ講座及び調理実習を実施 <高校>青森高校、弘前中央高校、七戸高校（各校計2回） <大学>青森公立大学（計6回）</p> <p>③ 企業等の食生活改善支援 社員を対象に、健康的な食生活に関する研修会を行う企業を公募し、講師として管理栄養士等を派遣（7企業）</p> <p>④ 児童対象の調理指導</p> <p>イ 「見える食育」による啓発活動</p> <p>① 食育啓発冊子の作成 食生活が不規則になりがちな若い世代に向けて、栄養バランスに優れた健康的な食生活について、大学生のアイディアによる献立レシピなど実例を交えて分かりやすく伝える冊子を作成</p> <p>② 野菜を食べようキャンペーンの展開（8月31日～11月30日） ・県内で野菜を販売する量販店や産地直売施設、飲食店等361店舗を「野菜で健康大作戦協力店」として登録し、県に対し野菜の摂取量アップを啓発 ・食育指導者や「野菜で健康大作戦協力店」関係者を対象に「野菜で健康大作戦調理研修会」を開催（県内3か所）</p> <p>③ 「あおり食育推進大会2020」の開催（2月15日） 食育指導者や一般県民を対象に、食育団体の活動報告や有識者による講演、パネルディスカッション、ワークショップなどを実施</p> <p>2 地域コミュニティによる食育の推進</p>

	<p>ア 「みんなの食堂」運営モデル実証 地域の子どもから高齢者まで幅広い世代が食事を共にする「共食」の場として月1～2回程度「みんなの食堂」を開設 <業務委託先> ① あおもり食命人ネットワーク ② 桜川食育教室いただきます！ ③ 青森中央短期大学</p> <p>イ 「みんなの食堂」ネットワークづくりの支援 農林水産業で発生する未利用農産物等を「みんなの食堂」などの共食の場で食材として活用するため、直売所等で発生している未利用農産物等の状況を調査（30か所程度）</p>
<p>今後の取組方向</p>	<p>第3次青森県食育推進計画の目標である「健康で活力に満ちた暮らし」と2025年を見据えた「青森県型地域共生社会」の実現に向けて、日本型食生活を重視した食育と地域コミュニティによる食育を推進していく。</p>

事業名	健康果実・青森りんごファンづくり強化事業
趣旨	青森りんごの消費量向上に向けて、りんごの食習慣づくりを働きかける関係者を拡大して食育活動の強化を図るとともに、若者も対象とした食育活動を推進する。
主な取組	<p>1 食育関係者と連携した青森りんご食育活動の強化</p> <p>(1) 県内食育関係者等を対象とした育成研修会を開催し、「青森りんごで健康応援隊」として40名を育成。(6月～11月)</p> <p>(2) 応援隊を活用した県内での健康イベントや出前授業、県外での「知事直伝！親子で学ぶアップルスクール」を開催</p> <p>①親子を対象とした「青森りんご出前講座」を開催(9月)</p> <p>②一般県民を対象とした青森りんご啓発イベントを開催(11月5日 ※いいりんごの日)</p> <p>③県内31小学校において、青森りんご出前授業を開催(11月～12月)</p> <p>④県外3地区において、知事自らが講師を務める「知事直伝！親子で学ぶアップルスクール」を開催(1月～2月)</p> <p>2 子どもから若者を対象とした青森りんご食育活動の推進</p> <p>(1) 児童版「青森りんご」冊子の作成・配布(11月～3月) 青森りんご啓発DVDを活用した食育活動の実施(4月～3月)</p> <p>(2) 県内在住留学生を対象とした青森りんご体験会等青森りんご啓発活動を実施(10月)</p>
今後の取組方向	<p>(1) 幼児・児童の親世代のりんごを食べる頻度の向上</p> <p>(2) りんごの食習慣づくりを働きかける青森りんごで健康応援隊の自主的な活動の体制づくりと継続的な活動</p> <p>(3) 県民へのりんご機能性の理解向上とりんご食習慣づくりの推進</p>

事業名	中山間地域ふるさと活性化事業
趣 旨	農地や土地改良施設の有する多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化を図ることを目的として、地域住民活動を推進する人材の育成、施設や農地の利活用及び保全整備等の活動に対しての支援、啓発普及活動等を行う。
主 な 取 組	食育に関連した支援取組としては以下のとおり。 ① 米づくりに必要な農業用水や農業水利施設の役割をPRすることを目的に、土地改良区などの5団体が開催した施設見学会を物資提供等により支援。 ② “きれいな水”の大切さを理解してもらうため、NPO法人や環境公共推進協議会等の3団体が開催した生き物観察会を物資提供等により支援。 ③ 各県民局が主体となり、将来を担う子供たちと消費者であるその親たちを対象に、「環境公共」の取組が本県の豊かでおいしい農林水産物の生産を下支えしていることをPRする体験学習会を実施。
今後の取組方向	中山間地域の活性化を図るため、次年度も同様の取組みを継続し、地域住民活動等を推進・支援する。

事業名	漁業の担い手確保・育成事業
趣 旨	漁業の現場と連携し、小中学生を対象とした水産教育を行うことにより、水産物や漁業に関する理解を深め、漁業の担い手の確保を図る。
主 な 取 組	①小中学生を対象に啓発体験学習の実施 各地域において、ホタテガイ養殖作業見学やサケ放流などの水産教室、ホタテガイやスルメイカなどの料理教室を開催した。 ②水産教室用パンフレットの作成 青森県の水産物や漁業を紹介するパンフレットを作成し、水産教室等で活用した。
今後の取組方向	令和元年度と同様の活動を実施し、本県沿岸漁協のPRと、水産業の普及啓発を推進する。

事業名	子どもの健康づくり体制支援事業
趣旨	<p>本県の肥満傾向児出現率の低下や子どもの健康増進に向けて、小学校を中心として、学校・家庭・地域が連携し、子どもの生活習慣を地域の子どもの健康問題として捉え、一体となって取り組む体制づくりを構築する。そのため、子どもの発達の段階に応じた運動プログラムを作成・実践するとともに、養護教諭と栄養教諭の連携による個別管理プログラムを活用した食育指導及び家庭・地域が一体となった実践研究と健康教育に携わる教員の指導力向上を図る。</p>
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6教育事務所管内で、小学校を1校指定し、そこを中心に連携している幼稚園・保育園・中学校をモデル地区とする。指定期間は、平成30年度からの2か年とする。 ○ モデル地区は、学校、家庭及び地域の実態や事業の趣旨を踏まえ、子どもの健康教育に関わる研究を計画的に促進する。 ○ モデル地区は、地区連絡協議会を開催し、健康教育の推進を図るとともに、地区として運動の推進と生活習慣の見直し改善について実践的な研究を行う。また、各校においては、児童生徒の健康課題解決のために学校保健委員会や講習会を計画する。 ○ 成果普及のために、実践発表会の開催及び資料集の作成・配布を行う。
今後の取組方向	<p>地域の幼稚園・小学校・中学校、家庭や地域社会と一体となった取組の推進を図る。</p>